

学校になじめない  
お子さまの  
「自信を育てたい」  
お母さまへ



学力を伸ばす「自分の仕事」



## 自分の仕事をやっている子は、学力が伸びる

ご家庭で、自分の「仕事」を  
きちんとやっている子は、  
学力が伸びます。

あるベテラン先生が、自分が担当する学級の子供たちには、次のように指導すると話してくれました。

『家で何か一つ、責任を持って仕事をする事』

同時に、先生は、お母さんたちにも協力を求めます。

『子供たちが、一つの仕事に関して  
プロになるようにしてあげて下さい。』

「お手伝い」という言葉ではなく、その先生は、「自分の仕事」という言葉を使います。



先生がおっしゃるには、

「子供だとはいっても、

家族の一員として、当然に、

果たすべき役割があるはず。」

## 学力を高めるための三つの効果

資料を調べてみると、共通点がありました。

ご家庭で、何か一つの「仕事」を、  
責任を持ってやっている子は、  
学力が伸びていくようです。

最初は、それほどの成績でなくっても、  
だんだんと学力がついてきます。

その効果は、  
大きく3つに分けて考えられます。

原因1：

一つの「仕事」を、きちんとできるようになると  
「子どもの自信」がつく。

小学1年生で、「お風呂洗いの仕事」を  
とてもがんばって、  
「プロ」になった子がいました。

そのきっかけは、生活科の  
「家の仕事に挑戦」という単元でした。

生まれて初めて、お風呂を洗ったときに、  
家族のみんなから褒められて、  
とてもうれしかったようです。

その後も、おばあちゃんが  
「〇〇ちゃんの洗ったお風呂は  
とても気持ちがいいね」と  
褒め続けてくれました。

そこで、その子は、  
とても自信がつけました。

寒い冬も、しっかりとがんばりました。

勉強も、バリバリがんばりました。

宿題以外にも、自主的に  
勉強をするようになりました。

自分には、お風呂洗いができる！  
それが、  
家族みんなの役に立っている！

「仕事」がきっかけとなって、  
その子の心に  
大きな自信とエネルギーが生まれました。



原因2：

「仕事」をすると、  
「子どもの集中力と注意力」が増す。

何か一つの「仕事」をするということは、  
お子さまにとって、

いつものように楽しく遊ぶこととは  
違った感覚を経験することも意味します。

何かの「仕事」は、お子さまに  
「新たな緊張感」をもたらしてくれます。

しかも、それは、  
どちらかというと  
爽快な感覚なのです。

学校での、お昼ごはん。  
給食のときの風景は、  
どんなものだと思いますか？

お子さまたちが、  
みんなで手分けして  
給食を配ります。

慣れない手つき。

お玉を使って、  
お鍋から食器へと、  
おかずを盛っていきます・・・



その時の、お子さまの様子を  
想像してみてください。

大切な給食を、こぼしてはいけないので、  
ものすごく真剣な表情です。

こういう様子は、放課後の遊びでは  
決して見ることはできません。



ご家庭での「仕事」の内容は、  
堅苦しく考えなくても、  
大丈夫です。気軽に決めればいいのです。

お風呂洗いで、食器洗いで、構いません。

洗濯物をたたむことも良いでしょうし、  
玄関の掃除も効果的です。

私の子供たちは、幼稚園に入る前から、  
布団や毛布を運んでくれました。そして、  
シーツをひろげるという  
ベッドメイキングの「仕事」をしてくれました。

これらの「仕事」をする時、  
子どもたちの心には、  
「遊び」とは違った感覚が生まれます。

緊張感と、集中力と、注意力。



毎日、そのような経験を重ねている子。

特に何も「仕事」をしないで、  
ゆっくりと過ごしている子。

・・・日常生活で、  
態度が違ってくるのは、  
当然なことだといえるでしょう。

ご家庭での「仕事」を通じて、  
身につけた集中力と注意力。

これらが、学校生活も含めた生活の中で、  
自然に発揮されるのです。

もちろん、授業中にも集中できます。

ご家庭で、宿題をやるときも  
注意深く取り組むでしょう。





学校で、テストを受けるときも  
集中力と注意力が発揮されます。

「仕事をもっている子」は、  
集中力が養成されているので、  
友達や先生の話  
をしっかり聞くこともできます。

また、注意力も育成されているので、  
教科書やテストの問題を、  
しっかり読み取ることができます。

したがって、学校のテストでも  
「うっかりミス」は、  
少なくなっていくます。

「家庭での仕事」と「学校での勉強」



ちょっと考えるだけでは、  
無関係のように思われます。

でも、大勢の子供たちを対象にした  
統計によると、きちんとした  
相関関係があるのです。



原因3：

セルフコントロールの力がつく。

ご家庭での「仕事」を、毎日  
責任を持ってやり続けることで、  
セルフコントロールの力がつきます。

仕事を任されれば、嫌なときや、  
気分が乗らないときでも、

ご家族のために、なんとか、  
「がんばろう！」という気持ちが  
湧き起こってきます。

そういった経験を重ねていくと、

自分の感情や気分を、しっかりと、  
コントロールする力が身につきます。



セルフコントロールの力は、  
日常生活も、学校生活も、  
グレードアップさせます。

そういう子は、5時間目の授業でも、  
しっかりと、がんばることができます。

算数の授業でも、計算ミスが少なく、  
ちょっと疲れていても、  
途中で投げ出したりしません。

ご家庭での「仕事」に取り組むときと  
まったく同じように、粘り強く、  
最後まで、やり遂げることができるのです。

学力を伸ばし、自信をつけるためには、  
勉強も大切ですが、

もうひとつ、  
大切にしてほしいことがあります。



それが、  
セルフコントロールの力の育成です。

勉強だけに偏った生活を送るのではなく、

お子さまの人生にとって大切な  
土台になる人間性、人間力を  
育ててあげてください。

将来にわたって、  
非常に大きな効果が期待できます。

セルフコントロールの鍛練も兼ねて、

子どもたちに  
毎日の生活の中で、  
責任を持たせてあげませんか。

子どもたちに果たすべき「仕事」を  
用意してあげるのです。

お子さまには、むずかしいことを、  
担当してもらう必要はありません。

ちょっとしたことを、続けられるように、  
準備してあげるだけです。

そうすれば、お子さまは、  
何か困難なことが起こっても  
自分の夢に向かって、  
セルフコントロールできるようになっていきます。

お子さまが、  
ご家庭で  
「仕事」を持つことには、

以上のように、  
とても大きな  
3つの効果があります。



お子さまの学習、習慣づくり、将来の展望など、  
どんな小さなことでも、気軽にお電話下さい。

「スタディ・コーチング・ラボラトリー」代表の  
福田秀一が、直接、お話をうかがいます。

**ご連絡は、こちらです。**

e-mail : [a\\_totalperson@yahoo.co.jp](mailto:a_totalperson@yahoo.co.jp)  
(PCにて、24時間受付)

